

猫の飼い主が守るべきこと ～猫に多いトラブルを防ぐために～



室内で飼いましょう

猫は室内で飼い、交通事故、争いによるケガ、感染症などの危険から守りましょう。ふん尿や、ゴミを荒らす、鳴き声がうるさいなどの、猫による周囲の人への被害をなくすことは飼い主の責務です。猫を自由に放して周辺に迷惑をかけることは、猫にとっても不幸なことになります。



首輪や迷子札、マイクロチップをつけましょう

飼い猫だと分かるように、しっかりと所有明示(身元表示)をしましょう。たとえ室内飼いであっても、開いた窓やドアからの脱走や突然の災害などで驚いて逃げてしまうことも考えられます。



不妊・去勢手術をして飼いましょう

「手術するのはかわいそう」などの理由で不妊・去勢手術をしないしていると、飼い主の知らない間に子猫が生まれることがあります。1頭のメス猫から子猫が生まれ、1年後には合計20頭以上に増えることもあります。平成25年度に自治体に引き取られ、殺処分された子猫は6万頭以上。世話をしきれなくなること(多頭飼育崩壊)は社会問題にもなっています。責任をもって世話ができる頭数なのかをよく考えましょう。また、不妊・去勢手術は、病気の予防やストレスの軽減のほか、オス同士の争いやマーキング行為の減少にもなります。

ペットの災害対策2

災害時…速やかな同行避難

まずは自分の身の安全を確保しましょう。災害時に動物を守るためには、まず飼い主が無事であることが大切です。また突然の災害ではペットがパニックになることがあります。落ち着いて避難しましょう。

<災害時にとるべき行動>

- ・ 第一に人とペットの安全確保
- ・ ペットとともに避難する(同行避難)
- ・ 避難所における飼養マナーと健康への配慮



マイクロチップとは

マイクロチップには15桁の数字が記録されており、専用のリーダーで読み取り、データベースに照会することで、登録された飼い主情報を確認できます。チップは半永久的に読み取りが可能で、首輪等が取れてしまっても身元の証明が可能です。マイクロチップの埋め込みについては、かかりつけの動物病院等に相談しましょう。



マイクロチップ



マイクロチップの埋め込み



マイクロチップの読み取り

NOTE